「保健医療科学」
第66巻 第3号 予告

平成28年度国立保健医療科学院年報

序
概要
養成訓練
活動報告／研究業績目録
事業報告
その他

編集後記

国立保健医療科学院には環境衛生監視員を対象とした研修があるが、演習テーマとして「高齢者施設の衛生管理」に取り組みたいという研修生が毎回、かならず存在する。建築物衛生法における特定建築物ではないにもかかわらず、衛生管理の必要性を感じている行政職員が増えつつあるように思う。話を聞いてみると、環境衛生監視としては立ち入り権限がないため、高齢者介護課等と連携して状況確認を行っているケースもあるという。

本特集は、高齢者施設・居住環境・衛生管理の3つをキーワードとして企画された。建築物環境衛生管理基準の不適合率の状況、感染制御のために推奨される室内湿度、高齢者施設における衛生管理の実施状況、先進的な自治体の取り組み、高齢者施設の省エネルギー、微生物と健康影響、実測による室内空気質・温熱環境の調査結果、設備設計と運用管理など、さまざまな立場・視点から3つのキーワードを解説している。

超高齢社会をむかえた今、地域包括ケアシステムを支える器としての「すまいとすまい方」を考えるさまざまなヒントを得ていただければと思う。

(医療・福祉サービス研究部 小林健一)